



ホームページ



職員募集

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

……幸樹会事業所……

からたち薬局・介護ショップからたち ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション ☎047-701-5559

あんず居宅介護支援事業所 ☎047-701-5558

ケアステーションゆず ☎047-701-5506

看護小規模多機能型居宅介護さんしょう ☎047-710-0331

幸樹会本部 ☎047-701-7550

〒270-2254 千葉県松戸市河原塚 411-1 幸樹会館



絵 井上 忠司 愛知県生れ。文化学院デザイン科卒業後、グラフィックデザインの世界へ。食品関係・洗剤関係の仕事を経てパッケージのアートディレクター（AD）になる。リタイア後に趣味で始めたバードウォッチングの魅力に夢中になり、10年間鳥の絵を描いてきました。さんしょうのご利用者でした。

□□ 追悼 □□

井上忠司さん、 ありがとうございました

『幸樹』の表紙絵「鳥」を描かれてきた井上忠司さんが亡くなりました。入院されていましたが、2週間程度で退院と聞いていましたので、突然の訃報に職員一同、残念でショックを受けています。

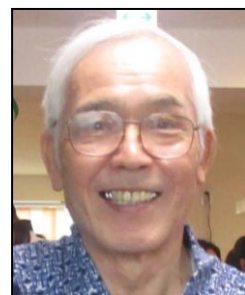
看多機運営推進会議では、積極的に発言され、私たちのケアを育ててくださった方でもありました。5周年記念誌では、幸樹会との出会いを「ハッピーの始まり」と語ってくれました。もっともっとお話を聞きたかったと寂しい気持ちです。生前井上さんから「自由

に使って」と鳥の絵の画像ファイルを預かっていました。今後も使用してよいと甥子さんからもご了承いただきましたので、これからある限りの井上さんの絵を表紙に使わせていただこうと思います。

井上さん、病気を抱えての一人暮らし頑張っておられましたね。

駄洒落で周りを笑わせてくれ、私たちがとても励まされてきました。ありがとうございました。ご冥福をお祈りします。

2020年3月10日 幸樹会代表理事 中野三代子



故井上忠司さん

看護小規模多機能型居宅介護を ひろげよう！

全国訪問看護事業協会が 『手引き』を発行

全国訪問看護事業協会は老人保健増進等事業助成を受けて「看護小規模多機能型居宅介護事業所の管理者に求められる実践的管理手法の開発と研修に関する事業」を進めてきましたが、2月末に検討結果を『看多機管理者のための経営・マネジメントの手引き』として発行しました。この『手引き』作成では、全国から選定された20カ所の看多機開設者・管理者を集めてアンケートとグループインタビューが行われ、数カ所の看多機が取材を受けてまとめられました。幸樹会看多機さんしょうも取材を受け、開設者の中野三代子がグループインタビューに参加し、作成に協力してきました。（中野 三代子）

「やれば、やるほど、 奥の深いサービス！」

看護小規模多機能型居宅介護（略称・看多機）は、2012年4月に創設されたサービスです。「高齢者の尊厳保持と自立生活支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるようにする」という地域包括ケアシステムを実現するための重要な役割を期待され、訪問看護・訪問介護・通い・泊まりの四つの機能を一体的に提供する画期的な事業として創設されました。

退院直後の在宅生活へのスムーズな移行支援、がん末期等の看とり期、病状不安定期における在宅生活の継続支援、家族に対するレスパイトケア、相談対応による不安の軽減という機能も求められています。

全国の看多機事業所数は577カ所（2019年9月末現在）ですが、介護保険事業計画では2025年までにその3倍が必要とされています。松戸市は比較的進んでおり9カ所になります。

期待は大きいのですが、看多機のサービス内容や知名度がまだ低く、医師や看護師、ケアマネジャーなどにその良さが伝わっていない一方、登録者（29名上限）の増減が激しく、収入変動が大きい経営や人材確保の難しさがあり、大きく広がらない状況があります。

しかし、実際に運営している開設者・管理者のグループインタビューでは、困難に勝る魅力があり、「看多機を運営して本当によかった」「やればやるほど奥



が深いサービス」という声が上がっていました。お互いの取り組みや工夫していることを語り、聞き、話は太いに盛り上がりました。困難の多くは工夫次第で克服できるものと確信することができました。

手引き作成事業の検討委員会委員長の叶谷由佳さん（横浜市立大学医学部看護学科教授）は、『手引き』のあとがきで、「グループインタビューの参加者の語りから、利用者の方や職員と楽しみながら、生き生きと看多機を運営している様子が感じられたことが印象的だった」と語っています。

看多機で働きたい方にもお勧め

『手引き』にまとめられた全国の看多機事業所の取り組み、工夫のエッセンスを参考にして、今後全国に看多機事業が広まっていけば嬉しいです。看多機で働いてみたいという方にも参考になり、お勧めです。

幸樹会さんしょうの理念、予算実績表、居室写真も掲載されています。この『手引き』の資料は、全国訪問看護事業協会のホームページからダウンロードでき、帳票類も利用可能となっています。

幸樹会ではこの『手引き』を使って、地域の医療関係者・介護事業関係者の皆さんに看多機の機能の理解を深めていただき、関係性を強め、看多機のよさを広めていきたいと思っています。

合言葉は「歩け、転ぶな、風邪ひくな」

国鉄（現JR）OBの 岡田尚久さん（90歳）



“クシャッ”となる笑顔が素敵な岡田尚久さん。私（河本）が、あまりに知らない事わからない事ばかりなので、笑い呆れながらも、「話すすと長くなるよ」と熱心に思い出を語っていただきました。その話を改めて手記にさせていただきました。

（さんしょう介護職員 河本望）

- ・昭和4年8月21日（巳年）新潟県長岡市生まれ（90才）。この年は世界恐慌の影響で日本は失業者が出るほど不景気だった。

しかし、清水トンネルが開通し「東京の空気が新潟に流れ込む」という明るい一面もあった。

- ・昭和16年12月8日（巳年）第2次世界大戦が始まり、昭和20年8月1日アメリカ空襲B29の爆撃により市街地の大半を爆失多数の死者が出た（1500人）。自宅も火の海となったが運良く命びろいをした。
- ・昭和20年8月15日終戦。
- ・昭和21年国鉄（現JR）に就職 長田駅、新潟鉄道管理局貨物課 酒田港駅、沼垂駅等で勤務。昭和60年3月退職。
- ・新潟市に隣接している田上町に居住。

● 国鉄時代の思い出

- 豪雪、局庁舎の火災、地震、供水等の災害及び運転、人身事故、
- 近代化、合理化の推進等

- ・昭和60年4月
新潟組合運送（株）に再就職8年間勤務。
規則、規定等の改正及び事故防止
- ・平成6年～平成24年3月まで国鉄OB会三条支部長。会では皆が現職時代取り組んできた苦労話や出来事に花を咲かせ、楽しく懐かしく交流し合言葉は「趣味を持て、歩け、転ぶな、風邪ひくな」であった。
- ・平成26年瑞宝双光章を受賞、宮中で天皇陛下のすぐ近くでお話を頂き、今までの表彰の中で一番印象に残っている。
- ・平成27年4月安倍総理から「桜を見る会」に招待される。
- ・昨年10月20日松戸市に居住する長女に誘われ同市に引っ越した。10月22日外出の際、玄関を出た階段で転倒、腰を痛み 三和病院及び松戸市医療センターに入院、本年2月14日退院。さんしょうの利用を開始、リハビリに励んでいる。
- ・「歩け 転ぶな」と仲間に言いながら「自分が転んでいる」とは全く情けなく恥ずかしい次第である。

訪問介護

の

こころ

ケアステーションゆず・介護福祉士 君島由美子

介護の資格を取ったばかりの頃は“私にこの仕事は向いているのだろうか？”と不安を抱えた事もありました。介護の仕事をして8年が経過した今、去年は法人のバックアップもあり実務者研修を受講させていた頂き、今年1月には介護福祉士の試験も受けることが出来ました。

「ありがとう」と言われたとき！

介護の仕事を続けていて、利用者さんに想いが届いたと感じられる時があります。それは「ありがとう！」と笑顔が見られた瞬間です。「ありがとう」と言われた時は、私も自然と笑顔になります。

介護の仕事は肉体的にも大変で、精神的にも心が折れそうになる時があります。ですが、それを乗り越えようと、いつか利用者さんと心が通じ合えると思っています。

不安な時は状況に応じて看護師さんやケアマネさんに相談する事によって、次から素早くケアに生かすことができます。そのため不安なく仕事を続けられます。法人内で直ぐに相談が出来る環境は大変心強い事です。これからも利用者さんの気持ちに寄り添えるように、私自身も日々勉強と努力を重ねて行こうと思っています。



デンマーク便り…②③

ラスムッセン 京子

新型コロナウイルスで一部の内科は忙しいです。でも病院はガラガラです。緊急を要しない外来や手術は全て見送られているからです。若い教育課程の医師たちは自宅待機ですが、麻酔科研修に交代で呼び出されています。近い将来コロナウイルス対策の前線で麻酔科医師の補助または交代できるようにするためです。医療機関を緊急事態に対応可能に変更し、いち早く人工呼吸器と全面装備の病床が全国に 400 床強だったのを 900 床に増やしました。いざ、コロナウイルス患者が押し寄せて来るのを待ちかまえている状態です。(3/23 のフレデリクソ首相会見では、デンマークの感染者 1582 人、集中治療 55 人、呼吸器 47 人、死亡 24 人)

全面装備病床 500 床を設置



私が勤めているコペンハーゲン南部の中核病院 ヴィデオオーバー病院の放射線科では、新型コロナウイルス関係の検査、緊急検査と癌関係の診断だけなので、専門医ですら交代で自宅待機です。仕事に行っても今のところ、ゆったりやっています。我が病院も新型コロナウイルス対応可能な仮病棟(写真)やらテント等が設置されました。我が病院の新型コロナウイルス(COVID19)感染入院患者は 30 名程度で、3月24日の段階では呼吸器を必要としている患者は8人でした。他の緊急手術後等で呼吸器を必要としている患者さんは、もともとあるICUに入院中です。

「医療崩壊」となるのかは、今の段階では解りません。感染者が急速に伸び入院を必要とする重症患者が増えて人工呼吸器が不足する事態が避けられれば幸いです。これ以上の準備は出来ないでしょうから。

4月13日までデンマークは国境閉鎖・外出自粛なので、長い自宅待機になっていますが、天気の良い日には散歩を楽しんだり、読書したり、家族で別荘に出掛ける人も多いです。子供達はコンピュータやタブレットに依る遠隔授業が始まり宿題がでています。

医療機関、介護施設、薬局、給食センター、スーパーマーケット、流通関係、警察、公共交通機関(本数は減らしています)などは機能しています。感染のピークは、4月下旬ごろ来るのではとされています。

4月の地域交流カフェ は、中止します

新型コロナウイルス感染が急速に加速していますので、4月21日予定の地域交流カフェは中止いたします。

幸樹会・職員も、感染予防のために可能な限りの対策を実施していきます。

手洗い・栄養・睡眠・運動にいっそう心がけ、体力・免疫力を高めていきましょう。

お互いに励まし合って、困難な時期を乗り越えていきましょう。

八柱学習会

●前回報告 助言者 武井幸穂氏

3月13日(金)、18:30~

NHKスペシャル「認知症の第一人者が認知症になった」(1月放映)を見る

「何がしたいですか？」から

参加者 12 名。長谷川式認知症スケールの創始者で日本の認知症診療をけん引してきた長谷川和夫先生が、3年前に「嗜銀顆粒(しぎんかりゅう)性認知症」になったことを公表。番組は2018年8月からの1年間の長谷川先生の生活取材したもの。長谷川先生は妻と娘のサポートを受けながら、講演活動なども続けています。「何がしたい、何がしたくない、そこから出発してほしいよね」ということは、難しいけれどその通りだと思う。妻や娘の負担軽減のために、有料老人ホームのショートステイやデイサービスを試しに利用された長谷川先生は困惑し寂しげな顔をしていたけれど、自宅の本や書類が一杯の書斎に帰り、「ここが一番落ち着く」「僕の戦場だから」と嬉しそうなリラックスした顔をされていたのが印象的、などの感想。

▼次回学習会予定(「定例日: 毎月第3金曜日」)

●4月17日(金)、18:30~

「デンマーク訪問報告Ⅱ…教育・保育・福祉」

報告・中野三代子

場所: 幸樹会館2階会議室

今月の屋上太陽光発電量は、

964KWh



幸樹会館電力使用量 5163KWh 自給率 18.67%

職員募集! 非営利・働きがいある職場
薬剤師・看護師・介護職員

●無資格の方もご相談を。資格取得支援制度あり

問い合わせ: 本部中野まで、☎047-701-7550